



# パイロット通信5号

平成29年 7月6日(木)

## ①第6回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

6月26日(月)に第6回校内授業研究会を実施しました。1年生の英語科の授業で「be動詞と一般動詞を使い分けた英文を書くこと」について学習をしました。生徒に馴染みのある人物のプロファイル(年齢, 出身地, 好きなものなどの特徴)をもとに, その人物になりきって自己紹介文を英語で書くという学習を通して, be動詞と一般動詞を使い分けた英文を書く力をつけていこうという授業展開でした。今まで学習したことを使えば, 英文が書けそうだと感じた生徒は, 自分で考えた英文をグループで交流し, 全体の場で発表をしました。

「be動詞と一般動詞を使い分ける」というのは英語を学び始めた生徒には, ハードルの高い内容になりますが, 生徒は英文をしっかりと書けたことで達成感を得ていました。授業後の生徒アンケートでも「今日の授業は好き, 楽しい, わかりやすい」と肯定的な回答が100%となり, 大きな成果があったことが実感できました。



## ②第7回「学びの変革」パイロット校事業に係る校内授業研究会について

6月29日(木)に第7回校内授業研究会を実施しました。1年生の保健体育科男子の授業で「自分のマット運動の映像分析から改善のポイントを1つ以上見つけてスムーズな技ができるようにしよう」という内容で授業が進みました。自分のイメージと実際の技の完成度のズレをICT機器で確認し, どこをどのように改善すればよりよくなるか, 生徒たちは考え, 話し合い, そして実践しました。生徒の振り返りを見ると「映像を見ると, マットの突き離しが不十分だったから起き上がることができなかった。だからマットの突き離しを意識してやってみました。」「自分は足のつま先が上を向いていなかったため, 膝が曲がっていた。足のつま先を上に向けたらうまくできました。」などの記述がありました。次回の授業はマット運動のテストの予定にも関わらず, 事後アンケートで「次の保健体育の授業が楽しみだ」と肯定的な回答をした生徒が100%でした。先生方の日々の授業改善が生徒の学ぶ意欲にも表れていることを感じます。



きました。」などの記述がありました。次回の授業はマット運動のテストの予定にも関わらず, 事後アンケートで「次の保健体育の授業が楽しみだ」と肯定的な回答をした生徒が100%でした。先生方の日々の授業改善が生徒の学ぶ意欲にも表れていることを感じます。